

事業所名

つどい

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

15 日

法人（事業所）理念		どんなに重い障害のある方でも、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける地域生活が行えるように、地域医療と地域福祉が連携した地域作りに努め、生きがいのある未来を目指す。							
支援方針		医療的ケアが必要な重症心身障害児や生きづらさを感じている障がいのある子ども達の地域生活支援を担う拠点として、活動を行い、個々の子ども達の生活の質が向上し、より良い生活が行えるように支援に努めていく。							
営業時間		学校休校日	9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		放課後時間	10 時	0 分から	18 時	0 分まで			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	①健康の維持増進をしていきます。⇒検温やバイタルチェックなどの健康観察。 ②基本的な生活スキルの獲得ができるようにしていきます。⇒手洗いや排泄習慣などの身辺自立など課題への支援。 ③医療的ケアが必要な子どもには、主治医意見書等で医療との連携を図り、安全安心に過ごせる環境を整えます。⇒主治医との密な連携。看護師の対応。							
	運動・感覚	①日常生活に必要な、姿勢や動作などがとれるように運動機能を高めるようにしていきます。⇒自立訓練・自活訓練・運動機能訓練等を取り入れた支援。 ②感覚統合活動や粗大運動・微細運動活動を取り入れた活動を行い、身体面・感覚面の発達を促します。⇒ボールプール、バランスボール、ミュージックケア、ムーブメント活動、スノーズレンなどの感覚を意識した活動による支援。散歩や体操、ダンスなど、からだ全体を使った支援。創作・制作活動による手先を動かす支援。 ③摂食訓練を取り入れて、適切な姿勢や摂食方法で食べる事への発達を促します。⇒おやつや水分、食事の時の摂食訓練を意識した介助と個別に合わせた食事形態の提供。							
	認知・行動	①感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、適切な行動への対応支援を行います。⇒創作・制作活動による色や形などの認識の支援。絵カード、スケジュール表などを活用した構造化による支援。 ②季節や行事等を感じられるような仕組みを設定します。⇒季節を感じる行事の壁画の作成。散歩や外出などの活動を通じて、風の感覚・外のおいや気温などを感じるられるような支援。							
	言語 コミュニケーション	①具体的な事象や体験を言葉の意味にむすびつける等により、体系的な言語の習得や自発的な発音を促します。⇒ソーシャルスキル活動や職員とのやりとり。 ②発達段階に応じたコミュニケーション手段を選定し、本人の意思伝達ができるようにしていきます。⇒指さし、身振り手振り、手話、マカトンサインなどのやりとり。 ③本人の表現・意思を見逃さないように観察していきます。⇒本人なりの表現をくみ取り、他者に代弁できるようにする。							
	人間関係 社会性	①集団生活の中でのルールやコミュニケーション、役割を持ち、人間関係の形成が行えるようにしていきます。⇒ルールや役割の学習、ごっこ遊び等の活動での友達同士のやりとり。 ②感情のコントロールができるような関わりをしていきます。⇒本人自身が気持ちのコントロール等ができるように、声かけやタイミング、文字化、サインなどの本人合った行動支援。 ③社会性を学ぶため、経験を積むための外出活動などをしていきます。⇒買物体験、外出活動などによる事業所外での支援。							
家族支援		①自立相談・発達相談など、家族が困ったときに相談を乗れる相談支援 ②必要なサービスや資源が使えるような情報の提供			移行支援		①進路先への情報提供 ②事業所移行をするときの情報提供とアドバイス ③関係機関等との連絡連携調整支援		
地域支援・地域連携		①地域向けの勉強会の開催 ②自立支援協議会への参加 ③地域に開放された行事の企画（作品展示会・施設公開会など）			職員の質の向上		①毎月の職員会議とケースカンファレンス ②内部研修と外部研修への参加		
主な行事等		①季節に合わせたイベントレクリエーション（ひなまつり、芋掘り、ハロウィン、クリスマス、など） ②誕生日会 ③卒業お別れ会							